

(増刊) 牛群検定通信 No 1

こんにちは！家畜改良事業団です。
従来から、検定成績表の裏面などを使って牛群検定通信をお届けしています。しかし、検定成績表の詳しい見方を掲載するにはスペース的に充分とは言えませんでした。そこで、社団法人全国開拓振興協会様のご協力を得て、同協会発行の「開拓情報」に連載中の「新牛群検定成績表の実践活用法」を今回から1年間の予定でお届けしたいと思っています。

あわせて、いろいろな牛群検定関連の情報もお届けする計画です。今回は、検定成績表の詳しい解説などが、こういったところに掲載されているかご案内します。

- 1 タイトル 新牛群検定成績表の実践活用法
「開拓情報（全国開拓振興協会）」平成22年11月号から、好評連載中！
今回から毎月本誌で紹介します。
最新号については、以下のホームページを参照下さい。
<http://www.kaitakusya.or.jp/>
- 2 タイトル 今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営
「Dairy Japan（デーリイジャパン社）」
平成23年1月号から、好評連載中！
- 3 タイトル 新しい検定成績表
「LIAJニュース（家畜改良事業団）」平成21年3月号から、好評連載中！
最新号の入手については、最寄りの当団種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせ下さい。バックナンバーは当団ホームページをご参照下さい。
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

平成21年		(LIAJニュース バックナンバーのご紹介)	
3月号 No115	その1	概 略	
5月号 No116	その2	暑熱対策での検定成績の利用(マネジメントモニタと標準乳量)	
7月号 No117	その3	個体検定日成績での乳量の見方(泌乳曲線と標準乳量)	
9月号 No118	その4	標準乳量についてのQ & A	
11月号 No119	その5	頭数と繁殖成績の見方(牛群構成と分娩間隔)	
平成22年			
1月号 No120	その6	新しい検定システムおよび検定成績表の変更① (牛個体識別番号との連携と新しい除籍理由)	
3月号 No121	その7	新しい検定システムおよび検定成績表の変更② (検定日乳量階層と発情・疾病での減乳)	
5月号 No122	その8	体細胞情報について①	
7月号 No123	その9	体細胞情報について②	
9月号 No124	その10	牛群管理(飼養管理)の目標にあわせた 乳用種雄牛の選び方と牛群検定情報の利用①	
11月号 No125	その11	牛群管理(飼養管理)の目標にあわせた 乳用種雄牛の選び方と牛群検定情報の利用②	
平成23年			
1月号 No126	その12	検定成績表の変更について (分娩予定日、飼養・搾乳形態、管理状況、品種について)	

〔本誌に関する問い合わせは、次のアドレスをお願いします。 toiawase@liaj.or.jp〕

新 データ活かして酪農経営の安定を 実践 牛群検定成績表の活用法¹



(株)家畜改良事業団 電子計算センター
電算課課長 相原光夫

開拓情報の読者のみなさん、こんにちは。今号から酪農の技術情報として、新しくなった牛群検定成績表の実践活用法を、1年間の予定で連載させて頂くことになりました。

牛群検定は、75年2月にその産声をあげ、35年間に渡って酪農の根幹を支え、乳用牛の改良に貢献してきました。長引く景気低迷の中で、口蹄疫を筆頭に牛乳の消費低迷、今夏の酷暑など酪農業はまさに混迷しています。そうした中で、牛群検定を酪農経営に取り入れ、1人でも多くの苦境を乗り越えて頂きたいと願ってやみません。

牛群検定に未加入の方は、是非とも

これを機に加入をおすすめします。加入手続き等については、(株)家畜改良事業団ホームページ (http://liaj.ln.gr.jp/japanese/kentei/gyuugunkentei_no_susume.pdf) をご覧下さい。

さて、牛群検定には主に次の4つの機能があります。①飼養(健康)管理、②繁殖管理、③乳質・衛生管理、④遺伝的改良、これらの機能により酪農家の経営改善に資することが牛群検定の命題です。09年5月には成績表をリニューアルし、その機能を強化したところです。今号では、新たな検定成績表の概要を、4つの機能とともに紹介したいと思います。

2. 繁殖管理

新成績表では、分娩後日数順で牛を並べてあるので、授精が遅れている牛や、なかなか受胎しない牛などが一目でわかるようになっていきます。妊娠した牛の分娩予定日などは従来通り表示してあります。新しい項目としては、繁殖の遅れを一括管理できるJMR(牛群の繁殖状況を指数化したもの)での表示を始め、肉牛交配率、平均授精回数、初回授精受胎率などを取り入れております。繁殖成績については、平均値のみで語ってしまうと、本質を見失ってしまうことがあります。

例えば、分娩間隔であれば早産だった牛の300日と、遅めの460日の2頭の平均分娩間隔は、 $(300+460) \div 2 = 380$ 日、となります。この場合は理想の分娩間隔380日を達成したとは言いません。新成績表では、分娩間隔、初産分娩月齢、空胎日数、乾乳日数などに

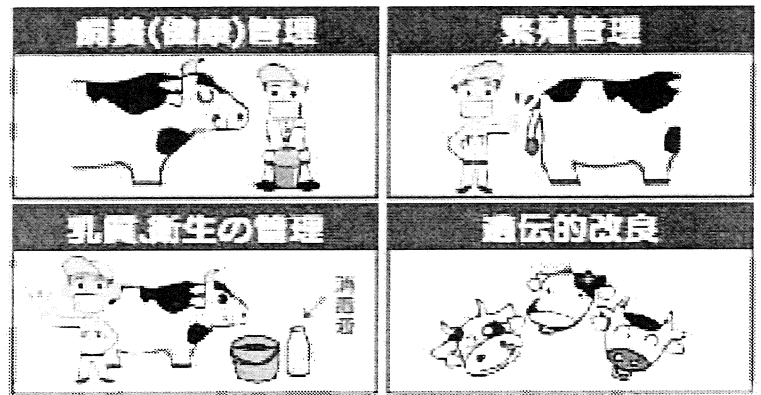
検定の4機能をそれぞれ強化

乳量・乳質、繁殖成績など、より詳しい表示に

ついては平均値のみの表示ではなく、日数別の分布を表示するように改めてあります。

また、「繁殖台帳Webシステム」という新たなシステムを開発しました。検定成績をパソコンや携帯電話で検索できるというシステムで、忙しい牛舎作業の最中でも、「あれ?この牛の分娩予定はいつだったかな?」というときに、携帯電話で一発検索できるスグレものです。牛群検定を実施している農家であれば、誰でも無料で利用することができますが、利用には多少の要件がありますので、お近くの検定

総合的に経営改善



1. 飼養(健康)管理

飼養(健康)管理にとって、最も大事なことは毎日の乳量の増減を確認することです。しかし、毎日の乳量は分娩後日数により変化しますし、季節の影響なども受けるため、一見単純そうな乳量確認が、実際にはなかなか難しいものです。

今回のリニューアルでは、この問題を解消するため標準乳量という新しい成績を取り入れました。飼養(健康)管理に影響する乳脂率と蛋白質率についてはグラフ化し、使いやすいものとなりました。また、初産と2産以上の2区分ではありますが、当該農家の泌乳曲線も新規に表示することとし、飼料設計のポイントなどをより把握しやすいものとしております。

その他の新しい成績としては、MUN(乳中尿素窒素)、P/F比(乳蛋白質率と乳脂肪率の比)といった概念も積極的に取り入れてあります。さらに、除糞理由コードの内容を拡充し、周産期病関連での廃牛管理についての情報も強化してあります。

組合までお問い合わせ下さい。

3. 乳質・衛生管理

乳質・衛生管理については、1頭1頭の体細胞数を測定しているため、高品質な乳質を管理できます。乳房炎は、衛生環境が劣悪である場合に発生しますので、体細胞数を把握することで、衛生的な搾乳の実施や牛舎の衛生状況を間接的に管理することもできます。

乳房炎を罹患した場合、体細胞数は徐々に上昇するのではなく、2倍・4倍…とネズミ算式に上昇することはよく知られているところです。乳房炎罹患に気づかないでいると、1頭の乳の体細胞数が農家のバルク乳の体細胞数を著しく引き上げてしまう場合も珍しくありません。

新成績表では、1頭の牛がバルク乳の体細胞数の何%を占めているかを示す高体細胞影響率をはじめ、乳量損失率、損失乳代といった成績を表示することとしました。ネズミ算式に変化する体細胞数を、より精密に処理できるよう、リニアスコア(体細胞数を対数変換したもの)の概念も随所に取り入れております。

4. 遺伝的改良

新成績表では項目別種雄牛成績とし

て、遺伝的改良の進捗がわかるように、授精情報や父牛などの育種価(E BV)平均を表示することとしました。また、遺伝的な能力を十分に発揮できているかどうかをはかれるように、遺伝評価の牛評を表示するように改めました。

牛群検定に加入すると、「牛群改良情報」という1頭1頭の遺伝情報(育種価)を年4回得ることができます。この遺伝情報は次世代を担う娘牛を作るか、F₁を作るか、といった交配方針を決める重要な情報です。

また今夏より、遺伝情報にも遺伝能力曲線、泌乳持続性、耐久性成分、疾病繁殖成分といった新しい評価を加えました。飼養管理技術の指標という農家の飼養管理技術をはかる評価が、従来は分娩年別だったものが検定月別となり、より詳細に管理できるようになりました。

さて、検定農家のみなさんのお手元には、すでに新検定成績表が到着しているわけですから、次回から早速、新成績表の実践活用法をひとつひとつ紹介していきたいと思ひます。

なお、ご不明な点などがあれば、お近くの検定組合または、(株)家畜改良事業団電子計算センター(Eメール: toiawase@liaj.or.jp)までお問い合わせ下さい。

